

ブラックロックの都内不動産プロジェクトに対する 「みずほサステナビリティ不動産ノンリコースローン」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、ブラックロックのオルタナティブ部門による私募ファンドを活用した不動産プロジェクトに対し、東京都中央区晴海のAクラスオフィスビル（以下「対象物件」）の取得資金として、株式会社静岡銀行、株式会社山梨中央銀行、三菱HCキャピタル株式会社とともに「みずほサステナビリティ不動産ノンリコースローン」（※）を実行しました。

「みずほサステナビリティ不動産ノンリコースローン」は、グリーンローン原則、ソーシャルローン原則の趣旨に準じて開発したみずほ銀行独自の評価フレームワークで、お客さまが不動産ファンドビジネスを通して取得する不動産やその管理・運用による環境や社会への影響を評価し、独自の認証を行い、不動産ノンリコースローンを供与するものです。評価フレームワークは、大手不動産鑑定機関からの助言を受けながら策定をしています。また、商品のスキームは、第三者評価機関である株式会社格付投資情報センターからセカンドオピニオンを取得しました。

みずほ銀行は、対象物件がDBJ Green Building 認証の取得や建物周辺・屋上・壁面の緑化といった環境面への対策に加え、施設内への保育所や地域防災倉庫の設置といった社会面での影響などの幅広い取り組みに対し、独自の評価フレームワークにて定めた水準を満たしていることを確認・評価し、取得資金を供与するものです。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行など、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。総合金融グループとしての知見を活かし、サステナブルファイナンス・環境ファイナンス等による資金調達支援をはじめ、脱炭素化に向けた事業の強化・転換に資する助言やソリューション提供に積極的に取り組んでいきます。

※：2022年10月13日付プレスリリース

「『みずほグリーン不動産ノンリコースローン』

『みずほサステナビリティ不動産ノンリコースローン』の取扱開始について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20221013release_jp.pdf

以 上